

情報通信研究機構

NICT 先端研究

Cinet

19

さまざまな情報を処理、統合し、自分の感覚や行動に反映させているのである。

脳情報通信融合研究センター(Cinet)では、無意識が支配する脳情報やそれを制御する技術について研究を進めている。

そうした無意識の人の行動や脳の活動を研究している。そもそも自分が自分であることと疑いを持つ人はほとんどいない。しかし、自分の「意識」とは別に、脳が活動していることが、最新の脳科学でわかってきている。

無意識でいる間も脳は行った研究では、無意識

また、NHK放送技がそうした活動にかかわっていることを明らかにした。

無意識なのに、自分にもかわる重要な問題として今後重要性が増してゆく。

脳科学研究成果を社会に還元することを目指すCinetの研究開発は、基礎的段階から社会と接点を持つ

無意識の情報、脳に影響

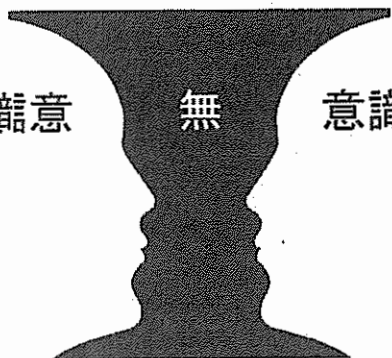
脳情報通信融合研究センター研究員 対馬 淑亮

米ホストン大学院修士、Ph.D.米ハーバード大、独レーゲンスブルク大、NHK放送技術研究所などを経て、15年より現職。予想できないことはやらないがモットー。認知心理学者。



て進めて行くことが重要である。この観点から、科学技術振興機構(JST)が関西の、けいはんな地区で進めているリサーチコンプレックス事業への参画は

無意識



無意識でも脳は情報を処理、統合し、感覚や行動に反映させている (イメージ)

時宜になつてい。る。異なる分野の研究。そこではIBra者や技術者が集まり、Cinet(脳情報科学)とI人のココロの問題に取り組みでいる。「無意識」の研究成果も生かす場所がありそうだ。「超快適」メタコンプ(この項おわり。12月5日から電磁波研究会の構築を目指してい所)